

夏がやってきたよ！

～蚊には気を付けよう編～



いよいよあつい夏がやってきました！

暑くなると“蚊”が増えてきます。

蚊に刺されておこる主な感染症について紹介します。

- ① ジカ熱
- ② デング熱
- ③ チクングニア熱
- ④ 日本脳炎
- ⑤ ウエストナイル熱
- ⑥ 黄熱
- ⑦ マラリア など

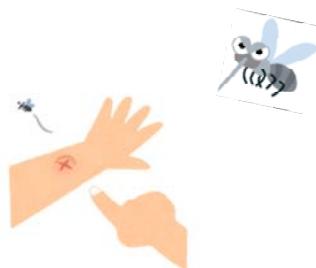
これらは、“蚊”を媒介してウイルスをヒトに移し、感染症を広げていきます。

日本においては、日本脳炎以外の蚊媒介感染症は、海外からの輸入感染症としてみられています。

《主な感染症》

**日 本 脳 炎**

潜伏期7～10日、突然の高熱、頭痛、嘔吐、意識障害及びけいれん等を主とするウイルス性の急性疾患です。感染者100～1,000人に1人が脳炎を発症す



ると考えられています。現在でも、神経学的後遺症を残す例が多いと報告されています。

最近、年間10人以下程度の方が、西日本の高齢者を中心に発症していますが、幼児・学童は、予防接種対象年齢に当たっており現在はほとんど発症がありません。また、現在は、東南アジア及び東アジアに広く分布し、感染者が多発しています。

## ジカ熱

中南米を中心に感染症が多数報告されています。ブラジルでのワールドカップの時に流行しました。

ジカウイルス感染症は感染しても症状がないか、症状が軽いため気づきにくいことがあります。妊婦さんが感染すると、小頭症などの先天性障害をもった子供が生まれてくる場合があります。

## 🌻そこで、私たちにできる対策をお勧めします🌻

### ◆ジカ熱・デング熱の運び屋！「ヒトスジシマカ」の発生源を叩こう！

- ・蚊の発生を減らすために、定期的に幼虫が発生しそうな水たまりの除去・清掃をしましょう。
- ・下草を刈るなど、成虫が住む場所をなくしましょう。  
(ポスターを参照してください)

### ◆感染症の運び屋“蚊”から身を守ろう！

#### 服でバリアー

- ・蚊がいそうな場所に行くときは、出来るだけ肌を露出しない服装にしましょう。

#### 虫よけ剤でバリアー

- ・虫よけ剤を使いましょう。  
(ポスターを参照してください)



また、蚊に刺されてから3～7日程度で、高熱・頭痛・発疹、気分不良などの症状がみられる時は、医療機関を受診するようにしてください。

夏休み等を利用して海外に旅行する場合は、渡航先の感染症等の情報を収集し、流行地に渡航する場合は、現地で蚊に刺されないように対策をし、注意して過ごしてください。

# 感染症の運び屋 蚊 から

# バリアーで身を守れ!!!

- やぶなどの蚊がいそうな場所に行くときは、肌を露出せず、虫除けスプレーを使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう!
- ジカ熱やデング熱の流行地に渡航する場合は、現地で蚊に刺されないように注意しましょう!

## 虫除け剤でバリアー



虫除け剤を使いましょう

## 服でバリアー



出かけるときは肌の露出が  
少ない服装にしましょう

### ●なぜ対策が必要?

ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。

### ●ジカ熱やデング熱に感染するとどうなる?

感染しても全ての人に症状が出るわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹が出るといった症状が1週間ほど出ます。また、ジカ熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子どもが生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化することがあります。

#### [ヒトスジシマカ]

背中に1本の白い線がある3~5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動します。雑木林・竹林・藪・墓地・公園などに見られます。特に日中に活発に給血します。活動範囲は50~100m程度です。

ジカ熱・デング熱に関する詳しい情報は厚生労働省のHPをご覧ください。

ジカ熱 厚労省 検索



デング熱 厚労省 検索



# ジカ熱・デング熱の運び屋

# ヒトスジシマカの発生源を叩け!

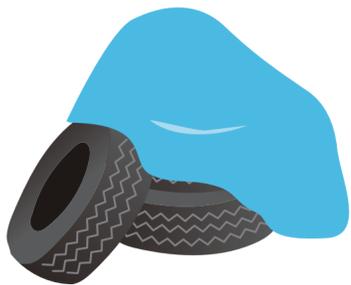


- 蚊の発生を減らすために、定期的に幼虫が発生しそうな周辺の水たまりの除去・清掃をしましょう!
- 下草を刈るなど、成虫が潜む場所をなくしましょう!

## 水たまり除去・清掃



植木鉢の皿



雨除けのブルーシートや古タイヤに溜まった水たまり



雨ざらしの用具



屋外に放置された空きビン・缶・ペットボトル

## 下草刈り



風通しの悪いやぶ・草むら

公園、学校、寺社、空海港、駅などの施設を管理されている方もご協力をお願いします!



詰まった排水溝

### ●なぜ対策が必要?

ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。

### ●ジカ熱やデング熱に感染するとどうなる?

感染しても全ての人に症状が出るわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹が出るといった症状が1週間ほど出ます。また、ジカ熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子どもが生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化することがあります。

### 【ヒトスジシマカ】

背中に1本の白い線がある3~5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動します。雑木林・竹林・藪・墓地・公園などに見られます。特に日中に活発に給血します。活動範囲は50~100m程度です。

ジカ熱・デング熱に関する詳しい情報は厚生労働省のHPをご覧ください。

ジカ熱 厚労省 検索



デング熱 厚労省 検索

